

ふりがな 氏名	かとう だいち	都道府県	岡山県	
	加藤 大智			
所属/肩書	岡山商工会議所 企画振興部 企画課			
私の ESD活動	旭川清流化のための諸活動			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

当所が行っている旭川清流化運動には、ESD の理念に合致する 3 つの特徴があります。

1 つ目の特徴は「持続性」です。当所が旭川の清流化運動を始めたのは平成 5 年の事だと聞いています。県庁所在都市の真ん中を貫流する旭川を日本一美しい川とすることで岡山のシンボルとし、岡山市の魅力向上へとつなげる事を理念として掲げていました。以後 20 年間にわたり、旭川およびその沿川の清掃活動や川に親しむ活動を続けています。

2 つ目の特徴は「広がり」です。平成 12 年に市民や企業グループを里親、旭川河川敷の一定区間を里子として養子縁組(アダプト)を結ぶ「旭川アダプト・プログラム」を開始。それぞれが決められた場所で清掃活動を行うことで河川全体の清掃につなげ、住民の河川保護意識を高め、清掃活動を普及させる結果へとつながりました。今年の夏に行われた旭川の一斉清掃では 1816 名に参加していただくなど定着しています。

3 つ目の特徴は「企業参加」です。活動を始めたころ、「企業の社会的責任」や「コンプライアンス」という言葉が聞かれ始め、企業のモラルが問われる時代となった事も影響しています。商工会議所の企業ネットワークを生かし、旭川清掃活動への活動と呼び掛ける事で、地元企業の社会的活動のきっかけとなりました。現在でも意識を高く持っていており、毎回 100 近い企業・団体にご協力をいただいています。

こうした旭川を大切にする活動の延長上に、当所では環境負荷低減のためのコミュニティサイクルの利用促進や環境マネジメントの普及を図るエコアクション 21 認定登録のお手伝いを行っています。私は当所職員となり日が浅いのですが、先輩たちの意思を受け継ぎ、次の世代へとつなげていきたいです。

今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

今後長きにわたって社会を支えていく実践活動として、ESD のさらなる発展と普及が必要です。そのためには、若者が集まって力を合わせるネットワークの構築が求められます。幸い、岡山市をもっとよくしていこうと活動を続けている若者中心の NPO や市民団体が存在しています。私はこれまで業務として旭川清掃などの活動をしてきましたが、今後は自分からそういった活動に参加し、岡山の将来について考えるとともに自らもネットワークを築いていきたいと考えています。また、団体同士をつなげ、活動がさらに大きな輪へと広がるように、接着剤の役割を果たしていきたいです。